

事例番号:300470

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第七部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

1 回経産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 4 日

1:55 陣痛発来のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日

5:15 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 4 日

(2) 出生時体重: 2332g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.364、PCO<sub>2</sub> 38.6mmHg、PO<sub>2</sub> 不明、

HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 22.1mmol/L、BE -3mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 10 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

生後 5 日 退院

生後 4 ヶ月 摂食嚥下機能障害と精神運動発達遅延の診断

1 歳 6 ヶ月 重度の脳性麻痺(アト-セ型+痙性型の混合)の診断

(7) 頭部画像所見:

生後 4 ヶ月 頭部 MRI で先天性の脳障害や低酸素・虚血を示唆する所見を認めない

#### 6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:准看護師 2 名

## 2. 脳性麻痺発症の原因

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に関与する事象を認めず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

## 3. 臨床経過に関する医学的評価

### 1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

### 2) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日の陣痛発来による入院から分娩経過中の一連の管理(バイタル測定、分娩監視装置装着等)は一般的である。

### 3) 新生児経過

新生児管理は一般的である。

## 4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

### 1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

観察した事項および実施した処置等に関しては、診療録に正確に記載することが望まれる。

【解説】本事例は診察結果(超音波断層法による所見や内診所見、分娩時の記録等)の記載が少なかった。すでに改善に取り組んでいるとの記載があるが、引き続き観察事項や妊産婦に対して行われた処置は詳細を記載することが望まれる。

### 2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

脳性麻痺発症に関与すると考えられる異常所見を見出すことができない事例を集積し、疫学調査や病態研究等、原因解明につながる研究を推進することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。